



消防大学校だより

消防団長科(第63・64期)

消防団長科は、全国の消防団の幹部である団長及び副団長を対象とした研修課程で、消防団の上級幹部として必要な知識及び技術を総合的に習得することを目的としています。

平成25年度においては、第63期学生39名（平成25年8月26日～30日）、第64期学生22名（平成25年12月16日～20日）が、5日間にわたる研修を修了しました。これで消防団長科の卒業生は、前身の消防講習所を含め2,422名に上ります。

研修では、消防庁長官の講話及び消防団運営に関する講義を消防庁消防防災・危機管理センターで受講し、また、東日本大震災を含めた大規模災害活動事例を学ぶとともに、消防団本部と消防本部との災害発生時における連携及び情報連絡体制の確保をテーマとした学生参加型の指揮シミュレーション訓練を実施しました。

さらに消防団を取り巻く環境の変化に対応するため、消防団幹部のあり方、現場活動の安全管理、女性消防団活動等の講義を受講しました。

この他、事例討議では「消防団員の確保」や「大規模災害時の消防団活動」などについて情報提供や意見交換が活発に行われ、消防団が抱える諸問題に対する消防団幹部としての取組みの大切さについて認識を深めました。

今後は、消防大学校において習得した知識・技術や課題討議での取組みをそれぞれの組織で活かすとともに、入校中に培った全国のネットワークを大切にして、更なる活躍が期待されます。

問い合わせ先

消防庁消防大学校 教務部
TEL: 0422-46-1712



消防庁・危機管理センターでの講義



指揮シミュレーション訓練



座学「講義演習」